

2021年2月22日

コロナ禍で需要低迷が続く花きを応援 需要拡大へ向けたプロジェクト

あいちの花で「卒業・入学」をテーマとした装飾展示を行っています

JAあいち経済連（名古屋市中区／理事長：権田博康）は、コロナ禍で需要の低迷が続く花きの生産者支援と今後の需要拡大を目的とした取り組みのひとつとして、本部を置くJAあいちビルの1階エントランスロビーにて、愛知県産の切り花を使った装飾展示を2月22日～3月5日まで行っています。

この取り組みは、新型コロナウイルス感染拡大を受けた農林水産省の事業（※参考資料参照）を活用した「冠婚葬祭事業における新たな花の仕様スタイル創出プロジェクト」の一環として実施しています。

展示は、県内4JAで生産された菊やリシアンサス、カトレアなど8類の花き計約1万本を使用し、この時期にふさわしい「卒業」「入学」をイメージして、(株)レクスト三河(冠婚葬祭・イベント装飾施工)の協力により作製しました。

プロジェクトは、JAあいち経済連とお取引のあるブライダル・葬祭事業者様などにて県産花きを使用した装飾展示を行い、その展示風景を新しいカタログ作成等に活かして消費者のみなさまへPRすることで、今後の需要拡大につなげることをねらうものです。

昨年7月から開始し、全国15社にて計400回以上の展示を実施してきました。また今後、事業者での使用結果を産地へフィードバックすることで、需要にマッチした産地での商品づくりなどにも活かしていきます。

花きの需要は、ブライダルや葬儀、イベント等での使用が中心です。コロナ禍でそれらの中止や縮小などが続き、需要が軒並み低迷するなかで、使用される花きの価格も下落（今年1月の主要品目で前年比3～4割減程度）が続いています。

今後も、関係機関・企業と連携しながら花きの需要拡大の取り組みをすすめていきます。



■花き装飾展示の概要

1. テーマ「卒業」 展示期間：2月22日（月）～2月26日（金）15時まで
2. テーマ「入学」 展示期間：3月1日（月）～3月5日（金）15時まで
※土日祝日除く
3. 使用花きの産地 J A と品目

JA名	品目
JA愛知みなみ	輪菊
	スプレーマム
	リシアンサス
	スイートピー
	ストック
	カーネーション
JAあいち海部	カラー
JAあいち知多	ストック
JA豊橋	カトレア

■この件に関する問合せ先

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-3-8 JA あいちビル
経営企画部 企画管理課 担当：田中、岩月
電 話：062-951-3630
F A X：052-961-9407

〒441-8525 豊橋市西幸町字笠松 111 J A あいち経済連東三河センター
園芸部 花き課 担当：辻井
電 話：0532-47-8228
F A X：0532-47-8248

<参考資料>

令和2年度 第一次補正予算国産農林水産物等販売促進緊急対策のうち
公共施設等における花きの活用拡大支援事業について

○ 事業趣旨

本事業は、新型コロナウイルス感染症が拡大してイベントや冠婚葬祭が自粛されたことによる花き需要の大幅な減少に対応し、公共施設等に花きを飾り付けること等により、緊急的に花きの需要を生み出し、減少した需要を回復させることを第一の目的としています。

○ 事業内容

- 1 地方自治体や学校、企業等における花きの活用拡大を通じた日常生活での需要喚起
 - ・ 役場、学校、商業施設等の地域住民の目に触れやすい空間を活用した花飾り
 - ・ 小中学生、親子を対象とした「アレンジメント講座」の開催
 - ・ 新たな花の活用場面を創出する提案展示（冠婚葬祭需要、日常生活への定着）
- 2 主要な駅、空港、観光地等における花きの活用拡大を通じた国内外の需要喚起
 - ・ 中部国際空港をはじめ鉄道駅、道の駅における花き展示

- この事業は、小売業者を含めた県内花き産業全体を支援することができるため、県、花き産業関係者で構成された「花の王国あいち県民運動実行委員会」（※1）が実施主体となり、総額6億円の事業費を活用して、日常的な花きの活用を拡大させ、県内花き産業全体を支援する。

- ※1 「花の王国あいち県民運動実行委員会」…愛知県、JAあいち経済連および愛知県花き温室園芸組合連合会を中心に、市町村や花き流通関係団体（卸・小売）などにより平成25(2013)年度に組織し、愛知県産花きのPR活動や花育の推進などに取り組んでいる。名誉会長は愛知県知事。

以上